

都市再生整備計画 事後評価シート
菅田町いごと地区

平成23年3月

神奈川県横浜市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	神奈川県		市町村名	横浜市		地区名	菅田町いであ地区		面積	11.5ha		
交付期間	平成18年度～平成22年度		事後評価実施時期	平成22年12月		交付対象事業費	1705百万円	国費率	0.4			
1) 事業の実施状況	事業名											
	当初計画に位置づけ、実施した事業	基幹事業	道路(1路線)、公園(菅田いであ公園再整備)、高次都市施設(地域交流センター)									
		提案事業	地域創造支援事業(動物愛護センター整備事業、公園用地取得事業)									
	事業名											
	当初計画から削除した事業	基幹事業	なし									
		提案事業	地域創造支援事業(公園用地取得事業)									
新たに追加した事業	基幹事業	なし										
	提案事業	なし										
交付期間の変更	当初	平成18年度～平成22年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	指標1	緊急車両の到着時間	分	12分	H18	7分	H22		6分	○	ありなし	到着時間が短縮され、近隣住民に安心感がもたらされた。
	指標2	歩行者	人数	50人/日	H18	100人/日	H22		119人/日	○	ありなし	歩道・外灯の設置により夜間も安心して通行可能となり生活向上に役立っている。また公園等の来所者による歩行者数の増加が見込まれる。
	指標3	イベントの開催	回数	2回	H18	4回	H22		6回	○	ありなし	公園での地域組織等によるイベント開催が増え、地域の活性化が促進された。
	指標4	動物愛護精神の理解度	割合	1.0	H18	1.1	H22		0.7	△	ありなし	動物愛護精神の理解度向上のための啓発事業の受講者受入れスペース等が整備されることにより達成が期待できる。
指標5									ありなし			
3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	目標値	数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値					
	その他の数値指標1											
	その他の数値指標2											
その他の数値指標3												
4) 定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 近隣住民から道路ができたことにより、買い物や散歩等が便利になった、見通しがよくなり安心して通行できるようになったとの声、地元住民と接触した際などに市に寄せられている。 地元区民まつりにPRブースを出展し、地域交流センターで動物を活用した地域交流活動等についてのアンケートを行ったところ、回答者の95.7%から肯定的な回答が得られた。また、動物愛護センターへのメッセージを募集したところ、50件の応援メッセージが寄せられた。 動物愛護センターでのボランティアについて、市内外から問い合わせが増加している。 											
5) 実施過程の評価	実施内容											
	実施状況											
	今後の対応方針等											
	モニタリング	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった										
住民参加プロセス	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった									●	今後も自治会、地域住民と連携しながら、必要に応じて開催していく。	
持続的なまちづくり体制の構築	都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった											

様式2-2 地区の概要

菅田町いど地区(神奈川県横浜市) 都市再生整備計画事業の成果概要

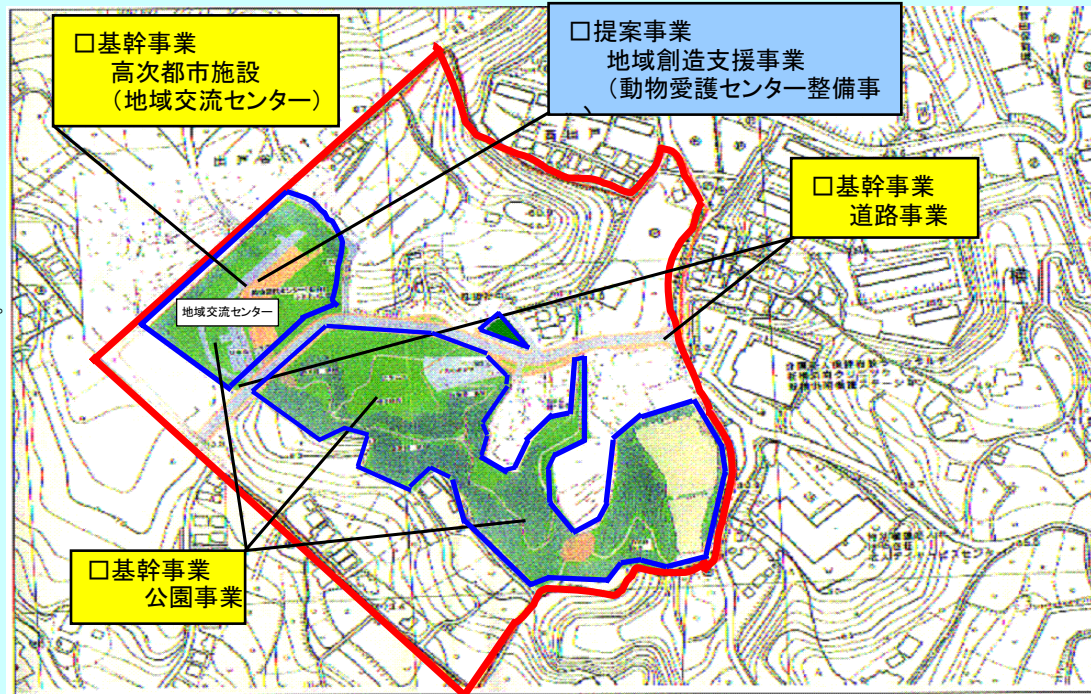
まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
・災害時の住民避難や緊急車両の通行可能な地域内アクセス道路を整備し、安全・安心なまちづくりを進める。 ・公園を拡張し、人と動物の共生を進める全市的な交流啓発拠点である動物愛護センターを併設することで地域の活性化を図る。	緊急自動車の到達時間	単位:分	12分	H18	7分	H22	6分	H22
	歩行者	単位:人数	50人/日	H18	100人/日	H22	119人/日	H22
	イベントの開催	単位:回数	2回	H18	4回	H22	6回	H22
	動物愛護精神の理解度	単位:割合	1.0	H18	1.1	H22	0.7	H22



多目的広場全景(公園事業)
複数の利用者が活用しやすい2面構成となっている。



少年野球も行える多目的広場(公園事業)
毎土日には少年野球の練習などが行われている。
この広場の利用調整は地域の団体が行っている。



整備後の神奈川県菅田町地内道路(道路事業)
対面交通が可能になり、歩道整備により歩行者の通行の安全が確保された。



夜間時の神奈川県菅田町地内道路(道路事業)
外灯整備により夜間も安心して通行することが可能となった。

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流センターまでは対面交通が可能となった。自動車の通行がスムーズになった。また歩道も整備され、歩行者の通行の安全が確保された。 ・生活道路及び外灯の整備、公園利用者等の増加により、夜間も安心して通行できるようになった。 ・消防署出張所から最短ルートでアクセスできることとなり、到着時間が短縮できた。 ・近隣の市街化区域から公園等への人の流れが発生し、豊かな農地・緑地環境を通じ、身近な自然に接する機会を提供できた。 ・公園及び地域交流センターの整備により、地元住民からの地域交流活動等の活性化に向けた提案や、市内外から動物愛護センターでのボランティア活動の申し出が寄せられるようになった。 ・動物愛護センターへの期待が市民意見などで寄せられており、適正飼育啓発の重要性に対する理解と関心が高まった。また地元において動物を取り入れた地域活動への関心が示され、住民主体で改善に向けて取り組む動きが芽生えつつある。
----------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域交流活動を通じて、住民が地域や互いの存在に関心を持ち、まちの課題に気づき、解決に向けて主体的に活動を行っていくことが重要である。行政は、その維持・拡大に向けた助言などのサポートを適宜行っていく。また、そのために近隣の施設等の定期的かつ必要に応じた情報交換を行うためのネットワークを構築する。 ・飼い主のいない猫に基因する問題への取り組みについては、住民が主体となって地域に適したルールづくりをすることが不可欠であるため、行政は中立的立場からの助言を行う。
---------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

都市再生整備計画 フォローアップ報告書
菅田町いでと地区

平成24年3月

神奈川県横浜市

1. 数値目標の達成状況の確認(確定値)

様式4-① 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	目標達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
指標1	緊急車両の到着時間	分	12分	7分	6分	確定 ●	○	あり	—			最短ルートでアクセスできることとなり、到着時間が短縮され、近隣住民に安心感がもたらされた。	
指標2	歩行者	人数	50人/日	100人/日	119人/日	確定 ●	○	あり	—			生活道路として市民の生活向上に役立っている。歩道・外灯の整備で安心安全な通行が可能となった。	
指標3	イベントの開催	回数	2回	4回	6回	確定 ●	○	あり	—			公園内での地域組織等を中心とした団体利用やイベント実施など地域の活性化が認められる。	
指標4	動物愛護精神の理解度	割合	1.0	1.1	0.7	確定 ●	△	あり ●	—	2.8	H24年2月	○	動物愛護思想や動物の生態、適正飼育の必要性の理解を促す事業への受講者・参加者が増加した。
指標5						確定 ●		あり	—				

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-①から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

様式4-② その他の数値指標の確定

指標	単位	従前値	目標値	事後評価				フォローアップによる確定値	計測時期	フォローアップ時点での達成度	確定値が評価値と比較して大きな差異がある場合や改善が見られない場合等		総合所見
				評価値	見込み・確定の別	達成度	1年以内の達成見込み				理由	改善策の方向性	
その他の数値指標1					確定 ●							改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標2					確定 ●							改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	
その他の数値指標3					確定 ●							改善策はそのまま 改善策に補強が必要 新たに改善策をたてる	

事後評価シート 様式2-1及び添付様式2-②から転記 ※全ての指標について記入

※フォローアップの必要のある指標について記入

※全ての指標について記入

2. 今後のまちづくり方策の検証

様式4-③ 「今後のまちづくり方策」の進捗状況

事後評価シート 添付様式5-③に記載した 今後のまちづくり方策(事項)		実施した具体的な内容	実施した結果	今後の課題 その他特記事項
・成果を持続させるために 行う方策	安全・安心な生活環境づくり	・町内会や地域福祉保健活動団体等への施設利用の呼びかけと施設の目的と機能の説明の実施	・地域団体との意見交換により地域課題について共通認識を図ることができた。 ・趣味活動サークル等による定期的な利用がなされ、地域住民の交流につながった。	地域課題の解決に向けた自発的な活動に対して地域住民や関係団体、関係機関へのコーディネート等を行う。
	人々が支えあう地域ネットワーク構築			
	動物愛護精神の向上及び適正飼育の推進	・動物愛護イベントや講習会、飼い方相談等の事業実施 ・動物愛護団体などによるしつけ方教室、ふれあい会、動物介在活動等の実施 ・地元CATVでの広報活動の実施	動物愛護団体や関係団体等の市民活力を用いた事業実施により、団体間の情報共有とともに、広く市民に向けた啓発活動を行うことができた。	動物愛護団体等の地域活動への導入等の検討。
改善策 ・まちづくりの目標を達成するための改善策 ・残された課題・新たな課題への対応策 ・その他 必要な改善策	福祉施設や他の市民利用施設とのネットワーク構築	・近隣の市民利用施設との意見交流の実施 ・市内小・中学校、社会福祉法人等への施設利用や事業協力の呼びかけ	・社会福祉法人主催の障害者自立支援活動の定期的な実施が行われるようになった。 ・小・中学生を対象の体験学習等が実施された。	各施設・団体と地域住民を繋ぎ相互理解や各施設の機能の活用を促すための交流会等の事業を行う。
	飼い主のいない猫に基因する問題への取り組み	・モデル地区事業実施に向けた検討	市民向けの猫飼育に関するガイドラインの改定に着手した。	ガイドラインの具体的検証を行うためのモデル地区を選定し、事業実施による問題解決を図る。

事後評価シート 添付様式5-③から転記

様式4-④ フォローアップにより新たに追加が考えられる今後のまちづくり方策

追加が考えられる今後のまちづくり方策	具体的内容	実施時期	実施にあたっての課題 その他特記事項

都市再生整備計画(清算報告)

すがたちょう
菅田町いであちく地区

かながわけんよこはまし
神奈川県横浜市

・様式は、A4長辺側を、2箇所ホチキス留めすること。

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	横浜市	地区名	菅田町いど地区	面積	11.5 ha
-------	------	------	-----	-----	---------	----	---------

計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度
------	---------------------	------	---------------------

目標

- ・災害時の住民避難や緊急車両の通行可能な地域内アクセス道路を整備し、安全・安心なまちづくりを進める。
- ・公園を拡張し、人と動物の共生を進める全市的な交流啓発拠点である動物愛護センターを併設することで、地域の活性化を図る。

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

当地区は、横浜市神奈川区の西側、保土ヶ谷区及び緑区に隣接する、本市のほぼ中央部に位置しており、昭和45年に市街化調整区域に指定され、以来地域資源である緑地や農地が保全されてきた地域です。昭和40年代以降、本市の人口が急激に増加した高度成長期に、ベッドタウンとして開発された西菅田団地、菅田住宅、竹山団地、笹山団地などに囲まれた立地であるため、昭和54年に近隣公園「菅田いど公園」約2haを整備することで、緑豊かな環境を生かした地域コミュニティ形成の一端を担ってきた。

しかし、近年、市街化調整区域の規制緩和が図られるなか、高齢者支援に係る社会福祉施設の建設や公共事業用代替地としての宅地開発などにより、地区周辺の環境が著しく変化しているところである。

また近傍では環状2号線の開通や高規格道路の羽沢池辺線が事業化されるなど、交通利便性が飛躍的に向上している神奈川区の丘陵部に属している。横浜市都市計画マスタープラン・神奈川区プランのなかでも「身近な生活道路の安全性」「犯罪の起こりにくいまちづくり」「豊かな農地・緑地環境と市街化の共存を図り、調和したまちづくりを進めていく必要」が指摘されている。

課題

- ①道路幅員が狭く自動車の対面交通ができない。
- ②人通りが少ないため夜間の一人歩きが危険でできない。
- ③緊急車両の到着時間が遅い。
- ④市街化区域との共存を図る積極的な土地利用がされていない。
- ⑤地域の活性化に必要な条件である社会資本の整備が遅れている。
- ⑥捨て猫等のふんや鳴き声、飼い方に基因する地域の問題の多発。

将来ビジョン(中長期)

地域内アクセス道路及び公園の拡張整備により地区の交通利便性が高まり公園利用者が増えるとともに、市内各方面から動物愛護センター(仮称)への研修参加者が来訪し、地域的ないし全市的な交流が活発におこなわれ、地域の活性化が実現している。これは当地区において、道路、公園、地域交流センター等を総合的に整備することにより、活発な交流、活力ある都市活動、災害に強いまちづくりを進めるものである。(都市再生基本方針の第二、3の重点分野)

目標を定量化する指標

指標	単位	定義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
緊急車両の到着時間	分	消防車緊急出動時の走行時間	道路整備を行うことで、緊急車両の到着時間を短縮し、安全・安心なまちづくりを進める。	12分	18	7分	23
歩行者	人数	整備道路の歩行者数	地域の利便性の向上や、人々が活発に交流するために必要な移動空間の整備を行う。	50人/日	18	100人/日	23
イベントの開催	回数	公園内で行われるイベント開催の回数	既存の公園を拡張再整備することで明るく利用しやすい環境を創り出し、活発な市民交流を通じた地域の活性化を図る。	2回	18	4回	23
動物愛護精神の理解度	割合	適正飼育理解者の増加割合	人と動物が共に快適に暮らせる社会への到達度を住民の動物愛護精神の理解度により把握する。	1.0	18	1.1	23

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<ul style="list-style-type: none"> ・近隣公園から地区公園への機能更新等によるコミュニティの充実 	(基幹事業)いであと公園拡張事業 (基幹事業)地域交流センター整備事業
<ul style="list-style-type: none"> ・地区内アクセス道路機能の充実 ・地区外幹線道路への連結による全市的ネットワークへの参入 	(基幹事業)道路改良事業
<ul style="list-style-type: none"> ・地域内ないし全市的な交流の核となる施設を併設し、地域の活性化を推進 	(提案事業)動物愛護センター整備事業
その他	

